

## 豊かな自然とキャンプの魅力発信で取引力UPを目指す

企業組合みのぶ地域振興Link300（赤池宏文理事長/組合員7名）は今年度の事業として組合ホームページの作成に取り組んでいる。

当組合は、身延町の農林業をはじめとする地場産業のさらなる活性化、豊かな自然環境と資源を活かした観光関連業の振興を行い、長期的に安定した組合員の就労の場を確保することを目的として令和3年5月に設立した。

現在組合では富士山の麓に広がる富士五湖のひとつ「本栖湖」の畔にあるキャンプ場「いこいの森キャンプ場」と「身延観光案内所」、国道300号線沿いにある「道の駅しもべ・下部農村文化公園」の管理運営を担い、豊かな自然を楽しむアウトドアスポーツ、地元農産物や林産物の販売・加工体験等も行っている。

中心事業となるキャンプ場は、一過性の来町者増では無くリピーターや滞在型の観光として地域への経済効果を高める効果が高い。しかし全国的



委員会を組織し内容の検討を重ねている。

### 企業組合みのぶ地域振興 Link300

な流れとしてオートキャンプ場の利用者数は2019年を境に低下、コロナ禍で施設の受入人数の制限もあり、キャンプ人口はここ数年減少している。

組合では、キャンプ場周辺の自然環境を活かした水上スポーツやマウンテンバイク、自然教育などの企画もしてきたが、新規の利用者確保は大きな課題であった。

コロナウイルスによる行動制限が無くなり、遠方や海外への旅行が盛んとなりキャンプ人口はさらに減少する恐れもある。そこで、早急にキャンプの魅力や美しい自然環境をPRし、新規顧客の獲得、既存利用者がさらに楽しめる企画などを発信してリピート利用を促すことが必要と考え、組合独自のホームページ作成に取り組みはじめた。

ホームページは今年12月中にはオープンする予定で、費用の一部には取引力強化推進事業（全国中央会補助金）を活用、組合内部に委員会を組織しブラッシュアップを図っている。

取引力強化推進事業は、例年1～2組合が組合共同事業の推進に役立てるために独自のホームページやパンフレットの作成、ブランド構築や取引条件の改善などを補助する事業。令和6年度のニーズについては現在聞き取りをしていますので、お早めに連携組織課までお問い合わせください。

